

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたので、ご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《受託開始日》 平成 14 年 8 月 5 日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	HEV抗体 IgM	HEV抗体 IgG
検査コード	5514	5515
検査量	血清 1.0ml	血清 1.0ml
容器・保存	A 1 ・ 凍 結	A 1 ・ 凍 結
実施料 (判断料)	なし	なし
所要日数	18 ~ 25 日	18 ~ 25 日
検査方法	EIA法	EIA法
基準値	陰 性	陰 性

【臨床的意義】

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(HEV)を病原体とする急性肝炎です。主な感染経路はウイルスに汚染された飲料水とされ(経口感染)、感染後15~50日の潜伏期間を経て発症し、悪心、食欲不振、腹痛等の消化器症状とともに強い黄疸が急激に出現します。これが2週間ほど続いたのち、通常1ヶ月程度で完治します。不顕性感染が見られる(特に小児)一方、妊婦では20%が劇症化すると報告もあります。

IgM型のHEV抗体は、急性期から回復初期にかけて一過性に検出され、2~3ヶ月で消失します。IgG型HEV抗体は、IgM抗体に少し遅れるものの急性期に陽性となり、回復早期には高力価となります。その後IgG抗体価は徐々に低下し、数年後には消失します。このため、E型肝炎感染の診断には主としてIgM抗体が利用されます。